

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



ホームページ ブログ
最新記事をそれぞれに掲載しています



インターン生と研修中

元インターン生が経団連の役員に就任

この6月2日、経団連（中西弘明会長）の定期総会が開かれ、新しい役員構成が発表されました。その主要人事の中で、審議員会副議長の一人に、株式会社ユーグレナの代表取締役社長 出雲充さんが就任するというものがありました。出雲充さんは、史上最年少での経団連の役員就任であるとその内定が公表された段階から報道されてきました。

その出雲充さんは、バイオベンチャー・ユーグレナを20歳代で創業し、まず、東証マザーズに上場し、さらに2014年には東証一部上場企業に飛躍させたことが経済界では大きく評価されてきました。これからは、経済界の中核企業を集まる経団連に力強い新風を起こす人材として各方面に期待されております。

実は、出雲充さんは、東大の1年生の時に吉田つとむのインターンシップを体験し、議会の会議傍聴、地域回り、あるいは私が作成した「意見書」の作成にも参画しました。また、彼は研修中、私のカバンを持つのが特徴でしたが、その後、自身で「社長のかばん持ち」という学生インターンシップを企画して、多数の会社社長と縁を広げていました。



日経新聞本社訪問、鈴木 web 版編集長と懇談・東証マザーズ上場発表後（2012年）

インターン体験記⑥-②松村エミリ

今回は参議院議員会館に訪れ、現職議長：山東昭子事務所の秘書の方と、元インターン生の参議院職員の方にそれぞれお会いしました。秘書の方とは、現在のコロナウイルスの影響に関してお話ししました。参議院議会と地方議会の対応が異なっていることがよくわかりました。参議院はウイルス感染予防を行いながらも通常通りの日程を進めるという事でした。一方、地方議会では、会議を延期したり、予定をずらす対応をしていることより大きな違いがあることがわかりました。確かに、コロナにおける重要決定事項を話し合うための議会ですが、私はもしものことを考えると心配に思うところも少なくありません。



また、元インターン生の参議院職員の方に「公務員」と言う職業についてお話を聞かせて頂きました。行政の仕事を行う「国家公務員」と別に、衆議院・参議院が直接採用する「国家公務員（国会職員）」という、国会議員を会議の場で支える専門的な仕事があることを学びました。その日は、素晴らしい先輩にお会いできて、これからの活動もより一層身になるように精進したいと思います。

松村エミリ 第45期研修生（高校3年生）

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや中学生の職場体験に先行実施する学生支援です
★ 大学生の目標・希望にそって、議員と一緒に研修・調査するプログラムで社会勉強。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」会派室

自宅 042-795-7361

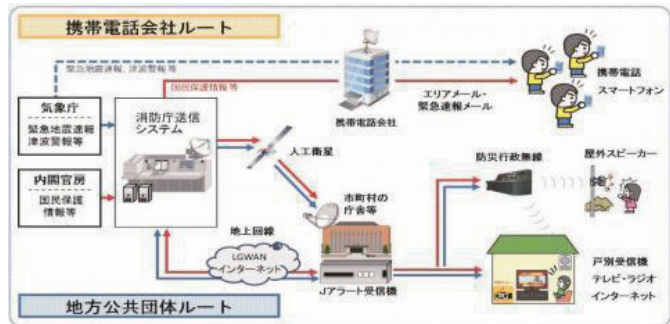


FAX: 042-795-2726

Jアラートを否定したこと、東京アラート

先日、「Jアラート」の訓練警報が発せられる日でした。関係者とオンラインTV会議を開催した際、その一人が「訓練警報の試験の声が防災無線を通じて、試験情報が発せられたのが聞こえる」と話してくれました。この「Jアラート」の訓練は、ミサイル発射や災害情報を国から自治体に伝える全国瞬時警報システムの一斉伝達試験を実施されたわけですが、町田市では聞くことができませんでした。

小池都知事がコロナウイルス感染症に関して使いだした言葉に「東京アラート」というものがありますが、緊急事態宣言の警戒状況の高まりがあり、そのため東京ではこのJアラートの言葉の存在感が薄まってしまったのでしょうか。とは言え、このJアラートの訓練を中止したのは、東京都と埼玉県だけであり、他の45府県は全て、この訓練に参加しました。その訓練は、一般市民が参加する労力はいらず、町田市のJアラート受信機を単純に「オン」にしておけば、市内全域の防災無線が一斉放送されるシステムとなっています。国が地方に求める必要最小限の訓練を止める合理性がなかったと思うものです。

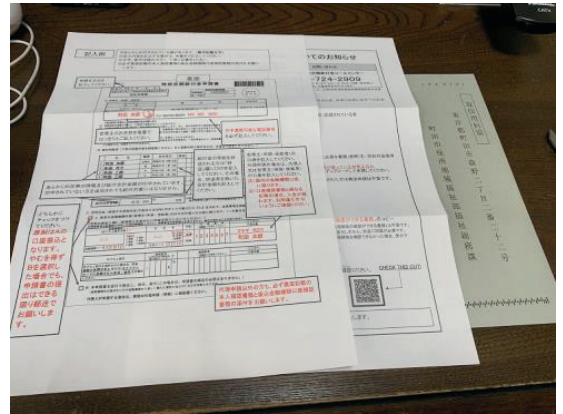


*国と地方自治体の伝達ルートは、東京都を介さずに、直接つながる設定になっている

特定定額給付金の申請の課題

マイナンバーカードの登録と印鑑の押印

5月末に町田市は、「特定定額給付金関係書類」を一斉に発送しました。6月2日以降、それほど経ない日で全戸に到着したものとします。もし、到着していな場合は、担当部署（福祉総務課）に問い合わせるということにしていきたいと思えます。



当然、直ぐにその申し込みをしていただいた方があり、6月中旬から、申込者の銀行口座に払い込まれますが、まだお金が送られてこないというケースが発生する方々への対処が優先事項になります。他方で、市民の方々から返送が、どれくらいのペースになるのか、町田市の手元データとつぎ合わせ、間違いの整理にどれくらい日数がかかるか、おそらく、定例議会の議員の一般質問項目や、常任委員会において、コロナウイルス感染症の対処とも主要なテーマとなりました。

今回の「特定定額給付金関係書類」の内容を見ると、書類の提出者がサインをして、押印をするように指示がありました。デジタル時代にありながら、サイン以外に、(実印や銀行印でもなく)、いわゆる三文判を押すことを求めるハンコ文化が健在でした。

★ 政党無所属で市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <https://yoshidaben.jp> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

連絡先 〒194-0011 町田電卓市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)